

事務事業名		表彰事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業					
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目					
	施策名	22 防災対策の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	04 火災予防の推進					01	09	01	02	09
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分					
所属	部課名	大船渡消防署		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		全体計画 (※期間限定複数年度のみ)					
	課長名	大久保 守正									
	係名	消防団係	電話						27-2119		
	担当者	上村 浩	内線						433		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						消防団員として他の模範となるものを表彰し士気の高揚を図る。また、一般市民(個人又は団体)で消防に著しい功労があり他の模範とする者に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し、さらなる防火意識の高揚を図る。実施時期は、春季消防演習と消防出初式に行っている。毎年11月中に各分団から内申があり、12月に表彰選考会を実施し決定する。予算は賞状と山形、記念品等で報償費より支出される。					
消防団員として他の模範となるものを表彰し士気の高揚を図る。また、一般市民(個人又は団体)で消防に著しい功労があり他の模範とする者に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し、さらなる防火意識の高揚を図る。実施時期は、春季消防演習と消防出初式に行っている。毎年11月中に各分団から内申があり、12月に表彰選考会を実施し決定する。予算は賞状と山形、記念品等で報償費より支出される。						総投入量 (千円)					
						事業費	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	事業費計 (A) 0		
						人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0	トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 大船渡市表彰の種類</td> <td>種</td> </tr> <tr> <td>イ 岩手県・県消防協会の種類</td> <td>種</td> </tr> <tr> <td>ウ 一般表彰した団体(個人)</td> <td>人</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 大船渡市表彰の種類	種	イ 岩手県・県消防協会の種類	種	ウ 一般表彰した団体(個人)	人
名称	単位										
ア 大船渡市表彰の種類	種										
イ 岩手県・県消防協会の種類	種										
ウ 一般表彰した団体(個人)	人										
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
消防団員として他の模範となるものを春季消防演習時に表彰した。消防に著しく功績のあった団体(個人)を表彰した。											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
昨年と同様		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 消防団員組織数(分団数)</td> <td>分団</td> </tr> <tr> <td>キ 消防団員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク 市民(人口)</td> <td>人</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 消防団員組織数(分団数)	分団	キ 消防団員数	人	ク 市民(人口)	人
名称	単位										
カ 消防団員組織数(分団数)	分団										
キ 消防団員数	人										
ク 市民(人口)	人										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
・消防団 ・消防団員 ・市民(個人・団体)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 表彰された分団の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 表彰された消防団員の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス これまでに表彰された団体(個人)の累計</td> <td>団体(人)</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 表彰された分団の割合	%	シ 表彰された消防団員の割合	%	ス これまでに表彰された団体(個人)の累計	団体(人)
名称	単位										
サ 表彰された分団の割合	%										
シ 表彰された消防団員の割合	%										
ス これまでに表彰された団体(個人)の累計	団体(人)										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)											
・団員の士気を高める。 ・防災意識の高揚を図る。											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
・消防団員としての誇りを持ち、その使命を再確認する。											

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	68	43	55	55	55
		事業費計(A)	千円	68	43	55	55	55
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	720	720	720	720	720
		人件費計(B)	千円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,948	2,923	2,935	2,935	2,935
⑤ 活動指標		ア 種	8	8	8	8	8	
		イ 種	13	13	13	13	13	
		ウ 人	0	0	1	1	1	
⑥ 対象指標		カ 分団	12	12	12	12	12	
		キ 人	966	944	1084	1084	1084	
		ク 人	38,167	37633	37633	37633	37633	
⑦ 成果指標		サ %	100	25	33	33	33	
		シ %	15	16	20	20	20	
		ス 団体(人)	35	37	38	38	38	

事務事業ID	1102	事務事業名	表彰事業
--------	------	-------	------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 消防団員として他の模範となるものを表彰し、士気の高揚を図るために実施。また、一般市民(個人・団体)の消防活動等の協力者に対して敬意を表した。(大船渡市消防団表彰規程・昭和27年11月、大船渡市消防団規則・昭和42年12月)	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・団員特別功労を積極的行うことにより、団員の士気が高まった。 ・市民への一般表彰の積極的な実施により、防災意識の高揚が図られた。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 消防団員の士気が高揚すれば消防団の活性化につながり、消防力の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 自治体消防責任の一翼を担う者に功績があれば顕彰すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 長い間の実績によって、団員に定着している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・長い間の実績によって、団員に定着している。 ・表彰することによって、士気及び防火意識の高揚につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・消防団員の士気の高揚が期待できなくなる。 ・防火意識の高揚が期待できなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 表彰されることは名誉なことであり、それなりの体裁が必要である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 不可能である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 自治体の消防責任の一翼を担う者に功績があれば顕彰すべきである。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	消防団員の士気を高め、出火時に的確な消火活動ができる体制を確立する事業は、本事業だけではないかと思われます。また、一般市民等に対して感謝や敬意を表す行為についても、本事業だけではないかと思われます。